### 第12節 津波から身を守る

津波から身を守るには、唯一「逃げる」しかありません。大津波警報や津波警報が発表されたらとにかく高い場所に避難します。

#### こんなときには このような行動を 強い地震や長い時間の 陸域に津波がおよび、浸水するおそれ。 ● 正しい情報をラジオや 揺れを感じたら があるため、ただちに高台や津波避難 テレビなどで入手しま ビル等、安全な場所へ避難する しょう。 大津波警報(特別警報) ● 警報が解除されるまで安全な場所から 津波警報が発表されたら 離れない。 ● 津波は繰り返しおそっ (揺れを感じない場合も) てきます。警報・注意 報が解除されるまで、 ● 陸域での避難必要はないが、いつでも 避難している高い場所 避難できるように準備はしておく。 津波注意報が発表されたら にとどまりましょ ● 海水浴や磯釣りは危険なので中止、 (揺れを感じない場合も) う。 安全な場所に移動する。

### 1. 津波に対する日ごろの備え

津波が押し寄せてきたときに、パニックに陥らないためにも、避難方法の確認や浸水地域の 把握、どこに津波避難ビルが存在するかなど、日ごろから確認しておきます。

※ 西成区役所では、津波発生時の浸水想定域や津波避難ビルなどを示した防災マップ及び 水害ハザードマップの配布を行っています。

### 2. 津波避難のポイント

# 地震の揺れの程度で自己判断しない

揺れが小さくても津波が起こることがあります。 小さい揺れであってもまずは避難する。

### 避難に車は使わない

原則として車で避難しないでください。渋滞に よりかえって避難が遅れる場合があります。

## 「より早く」「より高く」逃げる

浸水が始まってしまった場合は一刻を争います。 「遠く」よりも「高い」場所に避難します。近く のマンションやビルの3階以上に逃げ込むように しましょう。

### 津波避難ビルを確認しておこう

周りに高台がない場合 に利用する緊急避難施 設として、津波から避 難できる高さ・耐震を 有するビルを「津波避 難ビル」として指定し ています。

どこに津波避難ビルが あるかなど事前にチェッ クしておきましょう。

